

科名 外科 外科-62

対象疾患名 転移・再発乳がん

プロトコール名 GEM(乳がん)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残ハキ可	↓		↓		
2	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓		↓		
			デキサート	6.6mg						
3	点滴注	側管	ゲムシタビン	1250mg/m ²	必ず30分で	↓		↓		
			5%ブドウ糖	100mL						

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル3(90～30%)

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

- ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
- ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
- ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

- ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
- ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。